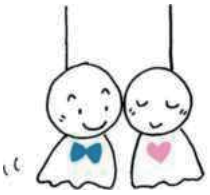




図書館だより



今年の梅雨は雨が多いですね。梅雨の季節はじめじめして蒸し暑くやる気が出ませんが、部屋でゆっくり読書をするのはどうですか？ワクワクする本の世界へタイムスリップできれば、蒸し暑さなんか忘れてしまうかもしれません。そんな気分を味わいたい時は、図書室へ本を見つけに来て下さい。

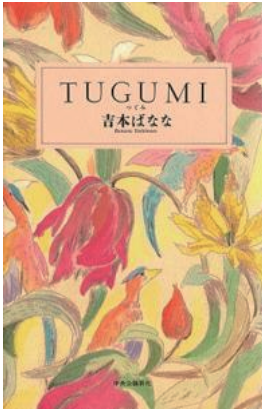


おすすめの1冊

TUGUMI

理科 本村 憲太

吉本 ばなな



主人公の「つぐみ」は生まれた時から体が弱く、甘やかされて育った結果、友人に「意地悪で粗野で口が悪く、わがままで甘つたれでずる賢い。人の一番いやがることを絶妙のタイミングと的確な描写でずけずけ言う時の勝ち誇った様は、まるで悪魔のようだった。」と語られるほどに育ちます。ところが、この友人(まりあ)は、時にそのつぐみの笑顔が不思議と弥勒のように見え、美しいとさえ感じてしまうというのです。

つぐみの魅力は、その内面からあふれ出てくる生命を司るエネルギーの輝きとでも言うべきものです。そこには「病弱で甘やかされて育ったわがままな子」という他人のレッテルへの激しい拒絶と自分で自分が分からないことへのいらだちが隠されています。

作品は、そんな彼女が「今」というかけがえのない「時」を、命の限り刻む姿を生き生きとらえています。側にいたら迷惑千万に違いない、でも放っておけない、生きる事に真剣な女の子に起こる青春の物語を読んでみてください。

3年 女 ここに死体を捨てないでください!!

東川 篤哉



鉄男との奇妙なドライブが始まる。うまく行くはずだったのに、厄介な探偵鵜飼たちに遭遇したことで、あらぬ方向へ。迷走する事件!おもしろいのでぜひ読んでみてください。

「なぜ解きはデイナーのあとで」の作者が書く、ミステリー小説です。妹が殺人を犯してしまった!有坂香織は妹のかわりに事件を隠蔽しようとする。死体をどうしようかと悩んでいる時に出会った助馬場

アジサイ (紫陽花)



例年だと校舎周りにたくさんの花を咲かせ、梅雨時の重い空気を明るく元気をしてくれるアジサイですが、今年は花がほとんど無く本当に残念。

アジサイの原産地は日本(原種は日本に自生するガクアジサイ)アジサイの花は、中央に咲く小さな花(約1cm)で、あまり目立つものはありません。一般的にアジサイの花とされているのは、萼(がく)かなるなる装飾花です。また、アジサイは塩害に強く、根は土をつかむように育つといわれています。

学舎の草木



アジサイ寺として有名な長谷寺(神奈川県鎌倉市)も、海に近くもろい泥岩の斜面に位置し大雨が降ると土が流されてしまうことから、土の流出防止の対策として昭和の終わりがらアジサイが植えられたそうです。現在では約2500株のアジサイが植えられているとのこと。